

防災教育の深化

～「自分の命は自分で守る力」を育成します～

ICTの
効果的
活用

地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育

◆呉市学校防災週間（7月6日を含む1週間）



避難所生活の模擬体験 防災朝会 防災士からの話 防災意識を高める掲示

◆生徒会による出前授業

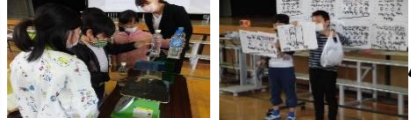
中学生が同じ中学校区の小学校に出向き、防災教育の出前授業を実施

各学校の実態に合った取組を充実させ、主体的に行動する態度を養います！

◆「呉市防災教育のための手引き」を活用した実践

※義務教育9年間を見通し、土砂災害・洪水・高潮への対応に重点を置いたカリキュラム

【算数科】「重さ」の単元を通して、避難する時に自分に必要な防災グッズを選び、3kgの防災リュックをつくる学習



◆土砂災害対応携帯マニュアル（毎年、出水期前に全ての子どもたちへ配付）

家庭を巻き込んだ取組を進めます。



全ての子どもが家庭に持ち帰り、保護者と話し合いながら自分の避難場所や避難経路、避難のタイミングなどについて確認します。

◆家庭・地域を巻き込んだ防災教育



参観日での防災授業 地域合同防災訓練
学校・家庭・地域が連携し、ともに防災力を高めます。

◆呉市防災教育研修会

（講師を招き、防災に関する専門的な研修）



教職員研修を充実させます。

授業改善の推進

～子どもの主体的な学びを実現します～

ICTの
効果的
活用

全ての教職員で進める授業づくり

◆生徒指導の実践上の視点

- ・自己存在感の感受
- ・共感的な人間関係の育成
- ・自己決定の場の提供
- ・安全・安心な風土の醸成



子どもの具体的な姿を思い浮かべながら、児童生徒理解に基づいた授業づくりを行います。

自分かしようと思うことを自分のペースで進めることができる。SSRがあれば登校しやすい。

◆特別支援教育の視点を取り入れた全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫

- ・場の構造化（物の配置などの固定化）
- ・学習ルール（発表の仕方等）の設定
- ・時間の構造化（単元や授業の流れなど）
- ・モデル・ヒント・観点・視点の提示
- ・動作化・作業化
- ・肯定的な評価（自己評価・他者評価・相互評価等）



◆子どもの問いを生かした「考える授業づくり」

- ・子どもが生み出す問いの活用
- ・子どもの問いを基にした学習課題の設定
- ・問いの解決に向けた「思考を促す発問」の工夫
- ・振り返りの充実



友達と話し合ったら分かったよ。

なぜだろう。

先生が話しすぎず、子どもの思考の時間を確保します。

どうしたらいいのかな。

小中で進める授業改善

◆呉市「学びの変革」推進研修会



各校の「学びの変革」推進担当教員を対象に、研修を行います。

◆小中で創る「未来の学び」実践事業



小中一貫教育を基盤とし、20年後、30年後に役立つ資質・能力の育成に向けて、中学校区で研究を進めます。

（授業改善の推進）

個を大切にしたい支援の充実

～一人一人の実態や思いに寄り添います～

ICTの
効果的
活用

個に応じた支援と居場所づくり

◆SSR（スペシャルサポートルーム）



県SSR：吉浦中、阿賀小(R5)
市SSR：白岳小、横路小、仁方中、昭和中(R5)
独自にSSRを設置する学校も増えています。

◆呉市教育支援センター（つばきルーム）



中央ルーム、延崎ルーム、安浦ルームの3ルームとも2名の支援員により対応
令和6年度、「呉市適応指導教室」から「呉市教育支援センター」へ名称変更

◆SCHOOL“S”（広島県教育支援センター）

東広島市八本松の県立教育センター内に設置。来室利用やオンライン利用が可能です。

◆フリースクール

学校はフリースクールとも連携します。

◆相談窓口の紹介



相談することの大切さを伝え、相談は寄り添って対応します。

◆スクールカウンセラーの活用

- ・県のSCを各中学校区に1名派遣
- ・呉市のSCは4名（うち1名は事務局常駐）

◆支援のための会議



スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにも助言を得ながら、情報共有したり、支援の具体を検討したりします。個別の教育支援計画等も活用します。



◆関係機関との連携

- ・特別支援学校（巡回相談の活用）
- ・少年サポートセンター（ひがしひろしま）
- ・広島国際大学心理臨床センター等

安全・安心で信頼される学校

学校における働き方改革の推進

～児童生徒が安心して学び、成長する場としての居場所～

教職員による不祥事の根絶

呉市が進める小中一貫教育

呉市では、平成19年度から全ての中学校区で小中一貫教育に取り組んでいます。その目的は、「中1ギャップの解消」と「自尊感情の向上」を基盤として、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育成することです。

（小中一貫教育）

資質・能力の育成

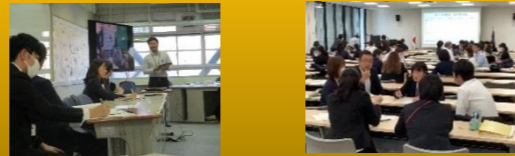
中1ギャップの解消

自尊感情の向上



小中乗り入れ授業

異学年交流



小中合同研修会

小中一貫教育推進コーディネーター研修会

一体型	分離型	義務教育学校
<p>中学校と小学校の施設が一体化している中学校区です。</p> <p>4中学校区が施設一体型（広南、警固屋、呉中央、倉橋）</p>	<p>中学校と小学校の施設が離れている中学校区です。</p>	<p>呉市立天応学園</p> <p>コミュニティ・スクールを導入しました。</p> <p>9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施した学校です。</p>

「小中一貫教育」を進める呉の学校 ～一体型、分離型、義務教育学校～
これまで積み重ねてきた小中一貫教育の取組を基盤として、それぞれの形態で、特色を生かした取組を進めます。